

増やせ 元気高齢者

垂水 鹿大と連携プロジェクト始動

450人健康チェック

元気なお年寄りを増やそうと垂水市が鹿児島大学医学部、垂水中央病院などと連携して進める事業「たるみず元気プロジェクト」が20日、始まった。初日は同市民館で65歳以上の高齢者の健康チェックがあった。体の状態を継続して把握し、介護予防や医療費の適正化を図る。

健康チェックは5日間かけ市内3地区で約450人を調査。医師や保健師が問診、聞き取りをして、体のほか認知や運動の機能、栄養など日常生活全般にわたる不具合を探る。収集したデータは鹿大が解析し、病気の早期発見や生活改善、健康意識の向上につなげる方針。体の状態を医療機関に報告して速やかな受診を促すほか、



生活や健康について質問に答える参加者（左）
＝垂水市市民館

市の運動や健康教室にも役立てる。定期的な健康チェックで経過観察し、息長く健康寿命の延伸に取り組む。

県内でも高齢化が深刻な同市は、介護や医療費の現状を受け、住み慣れた地域で安心して暮らし続ける仕組みづくりを目標に同事業を立ち上げた。スーパースーパーの大石充・鹿大病院副院長は「超高齢化にどう対応するかは大きなテーマ。垂水の事業を他の自治体のモデルにしたい」と話した。（黒田昌平）